

センター登録団体を紹介する冊子を作成しています！

市民活動サポートセンターでは、市民活動団体の情報を登録していただき、その内容をホームページ、くるりん通信等で紹介し、団体のPRや活動の拡大、団体同士の連携などに役立てるためセンター登録制度をすすめています。

現在、登録団体の皆様から登録時提出していただいた活動情報と活動の様子を伝える写真をまとめ、登録団体の紹介冊子「活き活きまちづくり」を作成しています。

情報公開を承認された団体情報を統一したフォームで掲載しています。

「一緒に活動してみたい」、「活動に関する質問をしたい」などと思ったときに、参考になります。

また、これからまちづくりを始めようとお考えの方々には、活動を始めるヒントを得るツールとしても活用できます。



◆ 新規登録団体紹介 ◆ (紹介冊子編集以降登録された団体の情報を掲載します)

全日本写真連盟安曇野支部



代表者	堀金 敏男
連絡者	川崎 克之
住所	〒 399-7102 安曇野市明科中川手 1177-3
電話	0263-88-8477
FAX	0263-88-8477
E-mai	gyokyo@etude.ocn.ne.jp

活動目的は写真の技術の研究に努めながら、カメラを通して信州・安曇野の魅力を再発見して安曇野市民を中心に広く伝えていくことです。

全日本写真連盟(全日写連)は1926年に創設された写

真愛好家の団体で、朝日新聞社が後援する全国的な組織です。会員は全国でおよそ13,000人。初心者からベテランまで、写真が好きな人たちの集まりです。長野県内には安曇野支部の他、長野、松本、佐久、飯田市に8つの支部があります。



レポート

■ “世界にやさしい安曇野” へ

日本語 de スピーチ大会 & 多文化共生クイズ

7/23 ■主催 安曇野市・あづみの国際化ネットワーク ■場所 安曇野市役所 4 階大会議室

「あづみの国際化ネットワーク」は「市民協働事業」として安曇野市と協働で、海外から安曇野へ越してこられた方々と地元に住む方々が互いに理解を深める交流事業を開催しました。

市内などで働き、暮らす、出身（ベトナム、中国、インドネシア、台湾、カナダ、ベナン、ミャンマー、日本（中国出身））や滞在期間（8カ月～27年）が異なる 11 人が、日本に来て感じたことや驚いたことを語りました。約 60 人の方々が興味深く聴いていました。また、「多文化共生クイズ」も行われ、クイズを通して相互理解を深めました。



インドネシア出身で技能実習生のハリス・ウィチャクソノさんは、日本語の会話を熱心に練習し、列車の乗り方を学んだ後、駅員に「切符はいくらですか。」と、日本語で聞いたにも関わらず、英語で答えられたと、ユーモアを交えて語りました。また、インドネシア人は知らない人にも挨拶するが、日本人は知っている人にしか挨拶しないと語りました。

中国出身で高校3年生の陳潔さんは、生活習慣の違いについて、中国ではバスの時刻表がないことや、指で数字の数が違うことなどを話しました。

カナダ出身でフランス系カナダ人のキャロル・ベランジェさんは、国際的な人になるためには、議論ができ、興味関心を持った人になることが大切だと語りました。

（あづみの国際化ネットワーク 林 孝彦）

■ 課題を共有し、解決策の立案をはじめました

市民協働ワークショップ

■主催 安曇野市・E・BE・YA あづみ家

■場所（第2回）8/6 安曇野市役所4階大会議室 （第3回）8/20 豊科交流学習センターきぼうホール

「協働のまちづくり」は、「環境や考え方が異なる主体同士が、目的や課題を共有し、それぞれの特性を活かし、主体的・自発的に、役割を担い合い、対等な立場で連携することです。」と協働のまちづくり推進基本方針に記されています。

この方針に従い、課題を見つけ、その解決策を策定するためにワークショップを重ねています。

第2回は、「知ろう、あづみ野」として、安曇野市の良いところや課題を出し合いました。課題としては、「公共交通が乏しい」、「若者の働く場が少ない」、「地区役員の担い手不足」などが挙げられました。



第3回は、「描こう、あづみ野」として、第2回で挙げられた良いところ、困ったところを参考に、企画づくりを進めるためのテーマを決めました。参加者がそれぞれの意見を出し合い、地域の課題に気づき、共有することができました。今後、企画（解決策）を各グループで立案します。その過程で自分たちにできることは自ら課題解決に取り組み、できないことは関係する組織や団体と協力して解決するなど、協働のまちづくりプロセスを学んでいく予定です。

（E・BE・YA あづみ家 水谷 元美）

こんな活動をしています

マイ箸づくりサポートボランティア

外食する時や、弁当を買った時についてくる割箸の材料は8割が外国から輸入されている事をご存知でしょうか。割箸をつくるために多くの木が伐採され、その後植林されないために、森が減って洪水が起きやすくなり、酷い場合には砂漠化している国が多くあります。この結果地球温暖化が進んでいます。

たかが割箸といえども日本では年間255億膳もの割箸が、1回使用されただけで捨てられています。

これらのことを考えて、国内のヒノキの端材を使ったマイ箸を作り、繰り返し使用すればそれだけで伐採を減らす効果があります。そこにマイ箸をつくる意義があるのです。

現在の活動は依頼のあった場所に出向いて行なっているそうです。場所は安曇野市内であれば何処でも可能で、日時は出来るだけ希望に応じたいとのこと。材料および治工具等は団体が準備しますが、1膳につき200円の材料費が必要だそうです。

現在の会員数は11名。区の公民館活動や社会福祉関係の行事として活動することが多いそうです。高齢化が進むにつれ会員の獲得も厳しくなると予想されるので、頑張っていきたいものだとか常々会員間で語りあっているそうです。

(花岡 伸泰)



くるくるセミナー

協働のまちづくり出前講座

選挙のはなし

9/6 ■市民活動サポートセンター

10月15日に市長選挙と市議会議員選挙があります。この機会に選挙について理解を深めようと、協働のまちづくり出前講座「選挙のはなし」を開催しました。

選挙管理委員会の職員から「公益財団法人明るい選挙協会」発行の冊子「くらしの中の選挙」を使って選挙制度の概要の説明がありました。

立候補から投票日までの選挙運動の期間や選挙運動の方法から始まって、選挙違反などについて事例を含めて分かり易い内容でした。

選挙違反については事例を幾つかあげて、選挙運動にかかわる人だけでなく、有権者も何が違反になるかよく知った上で正しい選挙が行われていることを見極めることが必要との説明がありました。

2016年から選挙権が18歳以上になり、安曇野市の年齢別の投票率では18歳は約53%（28年度）で19歳や20歳より高い投票率であることを分析して、進学や就職で安曇野市を離れた人への対策が必要だと指摘していました。選挙を間近に控え、分かり易い説明で選挙制度を再確認する



ことができました。



イベント情報

● 不用食器回収及びもったいない市

- 日時 9月24日(日曜日) 午前9:00~11:30 (不用食器の回収及びもったいない市)
9月25日(月曜日) 26日(火曜日) 午前9:00~12:00 (もったいない市のみ)
- 場所 安曇野市南穂高「県民豊科運動広場」
- 内容 不用食器の回収(24日のみ)・もったいない市(回収したりサイクル食器を無料で提供)
- 主催 安曇野市不用食器リサイクル実行委員会
- ※ もったいない市は環境フェアでも開催します。(10月7~8日 於:堀金総合体育館)

● 第25回ふるさとウォッチング in 安曇野

- 日時 10月1日(日曜日) 午前8:30受付 (午後1:00終了予定)
- 内容 貞享義民記念館(安曇野市三郷明盛3209)
- 参加費 1名1,000円(おむすび代、資料代、入館料、保険代等)
- ※ふるさとパートナー会員、中学生以下無料
- 主催 NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
- 申込み 9月4日~29日に公式サイトでの申込フォームまたは事務局へFAX、郵送
- 事務局 〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2(有)ライフポート安曇野内
TEL 0263-81-1325 FAX 0263-81-1280
URL <http://azumino-furusato.com>

● 早春賦劇場“今、平和を考え明日へ…”

- 日時 10月7日(土曜日) 午後1:00~4:00(開場 午後0:30)
- 場所 穂高交流学習センター「みらい」
- 内容 【一部】~安曇野にひびけ、平和のハーモニー~
【二部】~みんなで歌いましょう!!聴きましょう…~
【三部】~懐かしい映画上映!!「鐘の鳴る丘第三編“クロの巻”」~
- 参加費 無料(参加整理券があります)
- 主催 安曇野の自然と文化を考える会(音楽グループ)
- 問合せ 0263-82-7290(西山)、0263-82-4870(高橋)

● くるくるセミナー

- 日時 10月11日(水曜日) 午前10:00~11:30
- 場所 安曇野市市民活動サポートセンター くるりん広場
- 内容 協働のまちづくり出前講座 「もっと知りたい!?名誉市民の人と業績」
- 参加費 無料
- 主催 安曇野市地域づくり課 市民活動サポートセンター
- 問合せ 0263-82-1922

● くるりん講座

- 日時 10月21日(土曜日) 午前9:00~10:30
- 場所 安曇野市役所 穂高支所 別棟大会議室(2階)
- 内容 ファンドレイジング~活動資金づくりのポイント!~
- 参加費 無料
- 講師 大塚 佳織 氏 NPO法人日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー
NPO法人えんのわ 理事
- 主催 安曇野市地域づくり課 市民活動サポートセンター
- 問合せ 0263-82-1922

安曇野市市民活動サポートセンターでは、センターに登録していただける団体等を常時募集しています。より多くの団体等に登録していただき、各種事業を展開していきます。登録していただくと、各種のまちづくり情報をお届けいたします。是非ご登録をお願いいたします。

安曇野市市民活動サポートセンター

開館時間 午前9時~午後5時
休館日 毎週日曜日
年末年始 12月29日~1月3日
住所 〒399-8303 安曇野市穂高6658番地
電話/FAX 0263-82-1922
E-mail azumino-skc@bz03.plala.or.jp
URL <http://azumino-skc.net/>

